

ふくろう新聞

<発行>
特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会
洲本市中川原町中川原
28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

行事がたくさんあって、何かと忙しかった1月が過ぎ、落ち着いた日々を過ごされているようです。3月にある和太鼓コンサートはめったにない夜の外出イベントです。楽しみにされています。

小学生との交流会ふくろうバッチ、ケーキ作りに挑戦



↑ ケーキ作り班。上手にできたでしょ？



← 入所者さんと共に一生懸命ふくろうバッチを作りました。



→ 初めての機械浴体験にドキドキの様子。ギュッとレバーをにぎりしめ…。

去る1月23日、洲本第一小学校4年生31名が淡路ふくろうの郷を訪れ、交流会が開かれました。

まず、生徒さんが手話で自己紹介、これには入所者さんもびっくり！

次に2グループにわかれてケーキ作りとバッチ作り。みなさんとともに熱心！あつという間に立派なケーキとかわいいうバッチが出来ました。

昼食はみんなでカレーライス。みなさん準備に盛り付けを手伝ってくれました。食べながら入所者さんが生徒さんに手話を教える姿も見られ、終始楽しい空気でした。

最後に機械浴と車椅子の実体験、みなさん積極的！

「乗りたい！」「うわーすごい！」目が輝いていました。

そして記念撮影。「バイバイ！」「また来てねー」みんな笑顔でお別れしました。



入所者さんは普段見られないような笑顔を見せてくれました。生徒さんもこの日の体験を忘れないで心優しい人間になってね。職員ともども元気とパワーをもらいました。洲本第一小学校のみなさんありがとう！

(介護…角村)

いつもニコニコ笑顔がすてき 内田 朝哉さん



今月は内田朝哉さんを紹介したいと思います。

入居当初の内田さんは時々表情も硬く、訴えも身振りなので対応に悩みました。車椅子に乗って居室から出られても食事が終わるとすぐに「もどる」と訴えていました。

そんな中、8月に淡路島祭りに参加することになり、居室からあまり外へ出たがらない内田さんが施設の外に出ることので途中「帰る」と訴えないかと不安でした。

しかし、踊り始めると終始笑顔で皆さんと踊って最後まで

で「帰る」という訴えはありませんでした。

9月の施設での旅行でもバスの中で笑顔をふりまき楽しそうでした。施設の行事に参加することで表情が豊かになってきたと思います。

また、11月に神戸で行なわれた文化祭ではふくろうの郷に来る前にいた施設の職員さんと再会をし、職員さんは表情豊かな内田さんの笑顔をみて大変喜ばれていました。

入居されてから職員とのコミュニケーションを重ねていくうちに、身振り表現や表情が増えてきた内田さん。この笑顔を昨年以上に見たいです。

(介護…神代)



▲防災訓練にて



▲作業にも参加

2月のお誕生日のみなさんです

おめでと〜うございませす!



いつも夫婦仲良し
右:松崎敬治さん(83歳)
大正13年2月13日
左:松崎恵子さん(72歳)
昭和10年2月14日



作業に熱心で、はり絵やあみものにがんばっています
北風章子さん(77歳)
昭和5年2月5日



ひょうきんで、いつもみんなを笑わせてくれます
酒井道恵子さん(77歳)
昭和5年2月26日



散歩、編み物、読書が好き
辛島シツカさん(84歳)
大正12年2月9日



日向ぼっこが大好き
大浪春子さん(79歳)
昭和3年2月8日



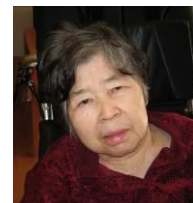
手話表現が増えました
富永ゆき子さん(85歳)
大正11年2月6日



昔はろうあ協会の理事としてバリバリ活動していました。
威風堂々
小林紀雄さん(80歳)
昭和2年2月11日



眉毛がりりしい
← 竹鼻加三さん(79歳)
昭和3年2月11日



笑顔がかわいい
伊藤照子さん(81歳) →
大正15年2月17日



お正月を迎えて



ふくろうの郷が開所して初めてのお正月。施設で暮らしている皆さんにもお正月らしさを感じられるように職員でいろいろと準備をしました。

まず、一月一日には「おせち」を食べていただきました。このおせちが大好評で、「施設でおせちが食べられるとは思ってなかった」「とてもおいしかった」などの声を聞きました。

二日にはユニット内でお昼に鍋を食べていただき、三日は書初めを行い、七日には雨で延期となっていた初詣に行ってきました。

最後は十五日「とんど焼き」

を行い、お正月の行事の締めをしました。地元中川原の方にもボランティアで手伝っていました。炎が消える頃におしるこをみんなで食べて解散。入居者の皆さんにお正月を感じてもらえることができたかと思えます。

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

(介護…神代)



入・退所の方々



梅沢美津子さん
平成18年12月12日
退所

とても明るい方で、いつも笑顔が素敵でした。娘さんの事が大好きでよくお話されていました。体調を崩されて入院され、そのまま退所になってしまったのが残念です。また娘さんと仲良く過ごしてください。



西田梅子さん
平成18年12月13日
入所

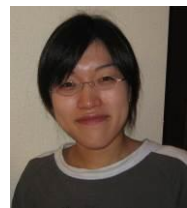
笑顔がかわいい方です。編み物もお上手で毎日こつこつとリビングで編んでおられます。また、洗濯物たたみやお皿洗いなどもお手伝いしてくださる優しい方です。これからもよろしくお願ひします。



岩瀬幾次郎さん
平成19年1月19日
入所

今年に入って初めて入所された方です。京都から職員、入居者と一緒に楽しい生活を送りましょう。

職員から



介護
(相談担当)
山本 聡子

私がふくろうの郷で働き始めて、もうすぐ一年が経とうとしています。相談室では皆さん楽しかったことを笑顔でお話したり、悩みを打ち明けてくれます。しかし私の経験不足のため入所者の方が何を伝えようとしているのか分からないことや、こちらの言葉が伝えられないこともあります。コミュニケーションの壁があり、入所者の方の言いたい事が理解できないことに悩むこともありませんが、一人ひとりの思いを知り、寄り添えるように頑張りたいと思います。



節分

2月3日は節分(せつぶん)

節分とは本来「季節を分ける」(季節が移り変わる節目を指し、立春、立夏、立秋、立冬)それぞれの前日に1年に4回あります。しかし日本では立春を1年の始まりとしたため春の節分のみを指すようになりました。

○豆まき

節分には豆をまきます。昔、京都に鬼が出た時、大豆を鬼の目に投げつけたら鬼を退治できたという話があり、豆(まめ)は摩滅(まめつ)に通じ無病息災を祈るという意味が

あります。また、豆を自分の数え年の数だけ豆を食べると病気になるはず健康でいられると伝えられています。

○丸かぶり寿司(太巻寿司)

巻き寿司を食べることは福を巻き込む、縁を切らないという意味が込められ、また節分にその年の恵方に向かって無言で切らずにかぶりつくと一年間無病息災でいられるという言い伝えがあります。

(調理: 桐本)

2月・3月の予定

- 2月3日 節分&お誕生日会
- 3月3日 ひな祭り&お誕生日会
- 3月16日 佐藤健作和太鼓コンサート



ボランティア連絡会議

去る1月11日、午後7時よりボランティア連絡会がふくろうの郷で開催されました。これには、行事参加の見守り、買い物動向、図書館への同行、ふくろう大学の講師など、ボランティア活動に参加いただいている方々の派遣調整を担ってくださっている淡路聴力障害者協会の斉藤よし子さんの要請で開催したものです。出席の約15名もの方々からは、活動参加の上での苦情やボランティア活動のあり方に意見が続出。『自分の時間を提供し、関わる入所者のこれまでの人生や生き様にふれ、それを通じて深い学びを得ていくことが出来る。だからただ買い物の付添いで終わらず、ふれあいを楽しんでいる』『突然運転を頼まれて当惑した』『外出にあたっての責任者の職員紹介をきっちりしてもらいたい』『注意事項や入所者の体調など、介助の上で必要な情報がほしい』など、要望や改善すべき点など多くの意見が出され、今後毎月定期的に会議を開催することになりました。

これからもよろしくご指導ください。



~淡路ふくろうの郷 職員募集~

平成19年4月から一緒に働いてくれる職員を募集しています。

募集職種は・・・

介護職・看護職・調理職です。

詳細についてはお問い合わせください。

特別養護老人ホーム淡路ふくろうの郷

TEL:0799-25-8550 FAX:0799-25-8551(担当:事務長 八木)



ひょうご聴障ネット主催

佐藤健作

和太鼓パリアリコンサート

平成19年3月16日(金)

神戸文化大ホール

18:00 開演

前売券 3,500円



<お問い合わせ>

淡路ふくろうの郷 又は

ひょうご聴障ネットへ

(TEL: 078-362-5250)